

「ハロゲン電球」を安全にご使用いただくために

ご使用上の注意

<p>反射鏡内面には直接素手でふれないでください。汚れたまま点灯すると、劣化して短寿命の原因となることがあります。きれいな手袋などを使用してください。汚れた場合はアルコールなどを浸したきれいな布で拭きとってください。</p>	<p>【器具設計上の注意】 両口金形電球の接点（口金部）に加わる圧力は、20～35N（銀接点の場合は10～35N）の範囲にしてください。</p>	<p>【器具設計上の注意】 ヒューズの使用が指定された電球：寿命末期にまれに起こる破損のおそれを少なくするため、器具には必ず指定のヒューズを取り付けてください。</p>
<p>【器具設計上の注意】 封止部の温度が350℃を超えない状態で使用してください。 適合器具の設計または選択をしてください。</p>	<p>【器具設計上の注意】 点灯中の管壁温度が250℃以下では使用しないでください。</p>	<p>【器具設計上の注意】 カタログなどで指定された品種以外：点灯中の管壁温度は900℃以下で使用してください。 適合器具の設計または選択をしてください。</p>

ハロゲン電球の故障診断

故障状態	原因	対策
最初から点灯しない。	電気がきていない。	テスター、電圧計で電源電圧を調べてください。
	口金とソケットの接触不良。	口金を正しく装着してください。
	電球不良（輸送、取扱い中のフィラメント断線）。	電球を取り替えてください。 電球の取り扱いはていねいにしてください。
最初点灯したが、すぐつかなくなる。	電源電圧の間違い。	電球の定格電圧と異なった電圧がきていないか、テスターで調べてください。
	ガラス球にひびが入り、空気が入ってしまう。（スローリークといい、ガラス球内部に白色の付着物が生じます。）	電球を取り替えてください。 電球の取り扱いはていねいにしてください。
	電源のブレーカー、ヒューズが切れる。	ソケットが異常ショートしていないか調べてください。他の電気器具を含めた容量を配線容量以下にしてください。
	ソケットの接触不良。	ソケットの接触部を調べてください。
短時間でつかなくなる。	電源電圧が高すぎる。	テスターで調べ、電源電圧に適応した電球を使用してください。
	振動が大きい。	取り付け方法を変更したり、振動が加わらないようにしてください。
	衝撃が加わる。	取り付け方法を変更したり、衝撃が加わらないようにしてください。
	器具の指定ワット数と異なる電球を使用している。	器具に合った電球をお使いください。
	点滅が激しい。	頻繁な点滅はおやめください。
	屋内用電球に使用中水滴が当たりガラス球にひびが入った。	取り付け位置を変更したり、適応した屋外用器具で使用してください。
点灯するが暗い。	電源電圧が低い。	電圧を正しく直すか、電圧にあった電球を使用してください。
	バルブが黒化している。	新しい電球と取り替えてください。
	電球、器具が汚れている。	時々掃除をしてください。
電球が割れる。	屋内用電球に水滴が当たる。	取り付け場所を変えたり、水滴が当たる場所では屋外用器具をお使いください。
	器具の一部にガラス球が接触する。	正常に取り付けてください。
	固いものがぶつかる。	カバーなどを取り付け、ぶつからないようにしてください。
	石英バルブの一部が白濁（失透現象）している。	電球を取り替えてください。 素手で触れたりした時はアルコールで表面をクリーニングしてください。
	電球の外面にペイントなどを、あとから塗ったり、貼ってある。	新しい電球と取り替えてください。
口金がとれる。	器具の指定ワット数と合わず、口金部の温度が高すぎる。	器具に合った電球を使用してください。